事業者名: 宮本電機株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

						主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	1 1 55 1 4 14	2 ****	3 #47.0AE 3 ##2.0EE	4 #020-886 4 #0400	5 5 x2>5-44 \$ x81,45	6 SÉCRICHI 6 SÉCRICHI C	7	8 8 #### 1111	9 88288880 8882555	10 APROPERS	11 darmens	12 12 >ca# 12 >ca# CO	13	14 ************************************	15 ************************************	16 16 **********************************	17 (19) (19) (19) (19) (19) (19) (19) (19)
	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	•		・経営方針は、社長が、全社員へ年初に説明するとともに、社内にも掲示し共有を図っている。また、正規・非正規にかかわらず、入社時の初任者研修でも経営方針の説明を行っている。					+		7	8	9	<b>-</b>	noss						17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組み を構築している。	•		・朝礼時に法令遵守、社内規定遵守の確認を行っている。 ・定期社内研修でコンプライアンス研修を実施している。 ・【予定】全社員から法令遵守に関する誓約書を徴求する。(2023年9月 実施予定)																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	•		・定期的に社内研修でコンプライアンス研修を実施している。 ・【予定】全社員から法令遵守に関する誓約書を徴求する。(2023年9月 実施予定)										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの 体制を整備している。	•		・【予定】担当者を決めエコアクション委員会を設置する。(2023年9月 実施予定)。委員会では現状の分析把握、課題発見、課題に対する対策 検討を行う。																16	
組織	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	•		・部署毎に朝礼等で知的財産保護の啓発を行っている。 ・知財侵害に当たらぬよう都度顧問弁護士と協議を行っている。								8. 2 8. 3	9							16	
· 公 正	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	•		・部署毎に朝礼等で個人情報保護の啓発を行っている。 ・【予定】全社員から個人情報保護に関する誓約書を徴求する。 (2023年9月実施予定)																16	
な取引	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホル ダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消 費者、投資家等及び社会全体)	•		・地域情報誌「どうぎゃん」を活用し、毎月弊社の理念訴求や、地域の 学校にヒアリングを行い応援広告を掲載している。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や 生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚 職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		•	・取引先から情報管理、環境管理等に関する定期考査を2回/年受け、評価を業務に反映している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を 策定し、訓練や見直しを行っている。		•	・定期的に災害避難訓練を行っている。 ・定期社内研修で災害対策研修を実施している。 ・BCP策定は2021年6月に作成済である。									9		11		13. 1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		•	・2022年6月に創業社長が代表取締役会長に就任し、後継者が代表取締役 社長となり代表取締役2名体制で事業承継中である。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		•		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	•		・定期社内研修でハラスメント研修を実施している。 ・雇用、教育、福利厚生等差別をしない体制を社内で整備している。				4. 3 4. 4 4. 5	5. 1 5. 2 5. 5			8. 5 8. 7 8. 8		10. 2 10. 3						16. 1 16. 2 16. 7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組 んでいる。	•		・安全衛生委員会を組織し、毎月社内の安全点検を行い環境の整備に取 り組んでいる。			3					8. 8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	•		・社員の雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金ガイドラインに沿った 公正な待遇を行っている。					5. 5			8. 5		10. 2 10. 3							
234	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の 両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	•		・時間外労働の管理を行い、過度な長時間労働防止を徹底している。 ・業務以外の社員の活動(社内ゴルフ等)に対し資金支援を行っている。 ・社員子女の学校部活動等に対する資金支援を行っている。			3		5. 5			8. 5 8. 8		10. 3							
労働	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	•		・部署毎のOJTと、定期研修を充実させた研修体制を構築している。 ・費用会社負担で、対面やWEB外部研修に社員を参加させている。				4	5. 5			8	9								
人権	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上 等に取り組んでいる。	•		・健康維持、増進のための各種運動を推奨し、社内サークルに資金支援 を行っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍で きる環境の整備に取り組んでいる。	•		・従業員の昇進・昇格等に、性別、国籍による差別的待遇はしていない。 ・管理職に対して、男女公平な働きやすい職場環境になるよう、休憩時間、待遇、残業管理、子育て支援、介護支援等に関して気配りするよう 指導している。				4. 4	5. 1 5. 5			8. 5		10. 2 10. 3						16. 7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレ ワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		•	・WEB会議を導入し実施している。			3					8	9. 1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業 務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		•	・電子黒板やWEB会議の活用でコミュニケーションの深化や短時間化に取り組んでいる。 ・DX化を推進するために、社内意識改革用の研修会を実施している。								8	9. 1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		•	・ブライト企業に認定されている。(認定証番号21083)			3	4				8	9			12					

事業者名: <mark>宮本電機株式会社</mark>

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

												主なSDG	s (17のゴ	-ルと16	9のターケ	ット)						
分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
					(水ず木省が6場がの間)	1 555 Av <del>i i i i</del>	2 1111	3 MALBRE	4 acec	<b>©</b>	6 session	7 = 15 = 140	8 ###	9 ##25005	10 texts	11 septemb		13 24545	14 #055 **********************************	15 #55 F	16 FOCOAL	17 ####################################
	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	•		・産業廃棄物管理による記録管理を行っている。 ・全製造工程で脱有機溶剤使用を100%達成している。			3. 9			6. 3					11. 6	12. 4		14. 1	15. 1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に 取り組んでいる。	•		・電力使用量、料金を毎月記録管理し削減に努めている。 ・ガソリンの使用料、料金を毎月記録管理し削減に努めている。 ・防熱フィルム、塗料/省電力型エアコン導入、LEDにより事業所の節電 に取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでい る。	•		・省エネ認定製品、ハイブリット車の導入しCO2排出の抑制に取り組んでいる。 ・【予定】担当者を決めエコアクション委員会を設置する。(2023年9月 実施予定)。委員会では現状の分析把握、課題発見、課題に対する対策 検討を行う。		2. 4					7. 2 7. 3 7. a					12. 4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないよう に配慮している。	•		・届出が必要な有機溶剤は使用してないが溶剤等の保管など適切な管理を実施している。 ・毎月、事業活動において排出されるゴミ、排水等が近隣に悪影響を与えていないか環境確認を行っている。						6. 6								14	15		
		【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リ デュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組ん でいる。	•		・電子黒板、Tab等の活用でペーパーレス化の推進を実施している。 ・事業活動で発生した段ボールはリサイクル業者と提携し100%リサイク ル化を図っている。									9. 4			12. 2 12. 4 12. 5		14. 1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	•		・全トイレに複数回水流し防止のためトイレ擬音装置を設置している。 ・水の使用量、料金を毎月記録管理し削減に努めている。		2. 4				6. 1 6. 3 6. 4 6. 6 6. b					11.5			14. 1 14. 2 14. 3	15		17
環境	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グ リーン購入、リサイクル製品認証等)。	•		・クリーン購入を促進している。									9. 4			12. 4 12. 5	13	14	15		
况	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		•		1	2				6. 4						12. 3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		•	・敷地内花壇に積極的に植栽している。											11. 6 11. 7		13. 1 13. 3		15		17
		【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能 エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		•								7. 1 7. 2 7. 3 7. a		9. 4		11.5		13. 1 13. 3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組み を推進している。		•							6			9. 4		11. 3 11. 4 11. 5	12. 2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		•							6. 1 6. 3 6. 6					11.3 11.4 11.5	12. 2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚 染の防止削減に貢献している。		•													12. 2 12. 5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車な どの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		•	・社用車としてハイブリッド車(プリウス、フィット)を使用し、CO2排 出削減に努めていている。 ・自転車通勤を推奨し希望者に自転車を無償貸与している。									9. 4		11. 2		13. 1 13. 3				
	36	【2050年C02排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年C02排出実質ゼロを目指し、計画的にC02削減に取り組んでいる。		•								7. 1 7. 2 7. 3 7. a		9. 4		11. 6 11. a	12. 8	13				17. 17

(様式第2<del>号</del>)

						主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
分類	No.	チェック項目	■★	チャレンジ	具体的な取組み	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
/J <b>X</b> R	NO.	7 - 7 / 7 - 7	<b>*</b>	ンジ	(※事業者が記載する欄)	1 \$55 <b>1</b> \$75	2 ### (((	3 TATORE	4 RORLERSE	5 2235-888 \$81,23	6 ##SREMADE	7 =315-94100 + 1179-90	8 #### <b>#</b>	9 ant-connu	10 APROXPS	11 ###################################	12 000 ARE	13 2828: 3 2828: 3 282222	14 Andret	15 #08984 #55	16 16 16	17 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::
	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	•		・安全性や品質を確保するために、製造部門と品質管理部門が意見交換、情報共有を積極的に行っている。 ・各部署に届くあらゆるお客様からの意見を直ちに社長まで共有できるように社内専用チャットを導入し、社員が実行するように指導している。			3. 9						9			12. 4					
製	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環 境整備を行っている。	•		・トイレを和式から車いす対応の洋式化へ変更している。 ・事業所内の段差を減らし、手すり、スローブの設置に取り組んでいる。 ・転倒防止や転倒時の保護ため渡り廊下の床材をゴム材に改良している。									9. 1	10	11.7						17
品 ・ サ	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		•			2. 3 2. 4					7.3	8	9		11. a	12. 3	13	14	15		17
ー ビ ス	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木 質化を推進している。		•								7					12. 2	13. 1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んで いる。		•		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地 域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		•			2. 3 2. 4						8. 2	9. 2 9. 4		11. a	12. 2		14	15		17
	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	•		・地元情報誌「どうぎゃん」に中学、高校生の応援広告を掲載している。 ・地元夏祭り盆踊りに会社として社員と共に参加している。 ・地元の保育園や介護施設のイベント時に協賛を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減す るため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進め ている。	•		・災害発生時に全社員の安否確認用に社内専用チャットを導入している。 ・全社員3日分の非常食と水を備蓄している。 ・地域ハザードマップの確認や、年1回避難訓練を実施している。				4							11. 5		13. 1			16	
持 続 可 能	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急 等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加して いる。		•	・社員の消防団加入を推奨し、消防団活動で会社を休んでも出勤扱いと している。 ・事業所所在地の消防団へ毎年金銭支援を行っている。	1. 5		3	4						10. 2	11. 5		13. 1			16	17
な社会	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		•										9		11	12	13. 1				
· 地 方	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普 及啓発や教育機会の提供を行っている。		•	・地域の人権擁護委員会の要請を受け外国人との共生に関する講演、研 修実績がある。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
創生	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地 域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		•	<ul><li>・地元中学校からの職場体験を受け入れている。</li><li>・管内高校からのインターンシップを受け入れている。</li></ul>				4				8. 6		10. 2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		•	・地元高校の卒業生を積極的に採用している。				4. 4				8. 5 8. 6								16 16 16	17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業 従事者の確保に取り組んでいる。		•			2		4. 3 4. 4 4. 5				8. 6		10. 2		12	13	14	15		17

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。